

大阪社会運動顕彰塔訪問

足立 龍枝

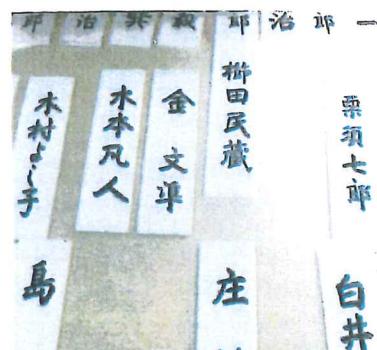


1年前、韓国濟州朝天（チョチョン）の3・1節100周年記念行事に参加した。

「なぜ、濟州城内でなく、朝天が3・1運動の始まりだったのか」1年間、考えることになっていった。

韓国語の本を翻訳した「濟州紀行」を読んだこともあり、以後2回、朝天に行く機会もあって、地理には詳しくなっていった。

3・1運動の時、リーダーになつた若者たちと夜学校で共に学び、そして「大阪の労働運動の父」といわれた「金文準」は、顕彰塔第1回に名前が書かれている。



大阪社会運動
顕 彰 塔

1年に2回しか公開しないという「大阪社会運動顕彰塔」、大阪城公園駅すぐ公園側にある。以下はその由来についての紹介。

顕彰塔は、石造物として、彫刻家・浅野孟府が設計し製作された。高さ7.5m、幅・奥行き1.7m、基礎に大阪市電の敷石が使われている。

顕彰塔の内部には、社会運動・労働運動に功績のあった物故者の芳名板が掲げられていて、塔内の中央に、文化勲章受章書道家・村上三島氏の書「顕彰 大阪社会運動之戰士」が、木製縦書きで書かれている。

村上三島先生には、吹田の中学校で書道を教えていただいた。1950年前後、日展特選に昇格されたころだった。15年ぐらい

前までは、私たちの同期会にも、お孫さん付き添いで出席されていた。

1970年に完成した大衆の腕を表現した4本柱で支える碑は、老朽化が進み、今年コンパクトな碑に建て替えられる。

50年間続いた碑の公開日は、5月1日・10月15日（去年は14日）だったが、今年5月1日午前9時半～12時が最終公開日になる予定。ぜひ、お出かけください。

顕彰された人は、1970年343人～2019年18人、計1,772人になる。濟州朝天の金文準氏と姜在彦先生を取り上げて、事跡録より省略して報告します。

—第1回顕彰金文準 1893年～1936年5月25日 43歳 朝鮮労働組合—

~~略~~~1911年に濟州農林学校の2期生として卒業。禾北普通学校で教鞭をとる傍ら、私設の巡回夜学校を開講し、青年・農民の啓発に努めた。この教え子たちが1919年の3・1独立運動時の「万歳事件」のリーダーとなった。金文準は排日思想の信念厚き者として、島内活動に制約を受け始めたため、広い活動の場として、大阪を選択。来阪後は在日朝鮮人労働運動に関わる。1925年には大阪朝鮮労働組合の執行委員、同北部支部の常任委員、さらに在日本朝鮮労働組合同盟結成時の中央委員、また大阪朝鮮労働組合の委員長も兼任した。~~略~~号は「木牛」、ペンネームを「金秋水」また「林万里」のペンネームで短編小説も発表。1936年4月結核で入院、5月25日逝去。

第50回(2019.10.14)

顕彰・追悼式に参加して

学者・文化人

姜在彦 1926年～2017年11月19日91歳

竹中 恵美子 (妻)



第五十回 大阪社会運動協会顕彰式
物故者顕彰・追悼式
奥野勉殿 田坪義明殿
加藤正明殿 本田廣市殿
姜在彦殿 牧内正哉殿
小西正一殿 杉本伸一殿
倉田佳明殿 村上重雄殿
真場成入殿 松田秀二殿
杉本伸一殿 山阪光男殿
山地貞夫殿 山地貞夫殿
以上十八柱

顕彰者事跡録記入は飛田雄一さん

姜在彦先生は著名な歴史学者で、書作の欄に書ききれないほど多くの業績を残されています。更に、南北朝鮮の民主化・統一問題や在日の人権問題等についての総合雑誌『季刊三千里』『季刊青丘』の編集委員として、同胞たちの自主的な言論の場を守り、日本と朝鮮半島、在日朝鮮人とをつなぐ働きをされました。

朝鮮の歴史文化についての学識を、日本市民に伝えるために、依頼に応じて多くの講演をされました。先生の語り口はユーモアに富み、多くのファンがいました。神戸学生青年センターでは、1972年から朝鮮史セミナーを開催していますがその講師陣の中で最も多く登場していただきました。単発のセミナーも多くありましたが、「わたしの朝鮮史—通史と史話」(1977年～78年全13回)もありました。「続・体験で語る在日朝鮮人運動」(1986年)での先生の2回の講演録はセンターより出版されています。学者然とした態度をとられず親しく受講者と交わる先生がその人気の秘密でした。



管理・運営は、公益財団法人
大阪社会運動協会「しおおさか4階」
(府立労働センター)が行っている。

済州紀行 ⑦



姜在彦先生の故郷・三陽洞を訪れた。

三陽洞遺跡地は1996年に遺物が大量出土したところで、現在は先史遺跡公園になっている。紀元前300年頃から人が住みはじめ、最も栄えたのは、紀元前100年頃と推定される。(李映権作・玄善允訳「済州歴史紀行」より)三陽洞は、「黒い砂」でも有名。

三陽洞先史遺跡公園は

済州市三陽洞 済州空港から10km東

電話番号 064-728-8673

アクセス 市内バスにて「三陽洞」下車

信号のある交差点より100m北へ



女性職員・洪スンニョさんにお世話になりました。

